



Hug

Hugはご自身で立ち上がることができなくなってしまった方の移乗動作やトイレなどの立位保持をサポートするロボットです。介護保険適用の福祉用具であり、在宅で利用されている方もいます。当院では脳血管疾患、脊髄損傷、骨折の方に対して移乗動作やトイレ誘導でHugを使用しています。Hugの使用により、トイレで排泄する際にスタッフ2人の介助が必要な方をスタッフ1人の介助で誘導することができ、対象者の負担感軽減に加えてスタッフの介助負担軽減も図ることができます。介護する側・される側双方において安全で安心な、持ち上げない・抱え上げない・引きずらないケアをノーリフティングケアと言います。安全で安心な介護・看護を提供するためには、身体の間違った使い方を無くし、対象者の状態に合わせて福祉用具を有効活用し、取り組むことが重要と言われており、当院ではHugのような福祉用具を積極的に活用しています。



▲ベッドから車いすへの移乗



▲車いすからの立ち上がり



▲トイレでの使用

リフト付き シャワーキャリー



【専用シャワーキャリー】

・高さ調節できる電動チルト機能がついている

リフト付きシャワーキャリーの特長は、【吊り上げることなく簡単に入浴できること】です。電動チルト機能がついているため、リラックスした姿勢で入浴できます。

使い方としては、専用のバスタブにレールを設置・シャワーキャリーをレールに接続・浴槽上にスライドさせるだけです。

座面をフックで引っ掛け吊り上げたりするなどの操作がないため、スピーディな入浴が可能となり湯冷めなどの心配がありません。また、シートの高さを介助者が介助しやすいように電動で昇降できるため、移乗や洗体を楽な姿勢で行え、無理な姿勢による腰痛などを防ぐこともできます。そして座面が電動でチルトできるため、座位保持が難しい方にも使用できます。

シャワーキャリーをレールの上でスライドさせた際、ストッパーがついているため脱落を防止でき、利用者・介助者ともに安全を確保し安心して入浴して頂けます。



▲専用のバスタブにレールを設定。シャワーキャリーをレールに接続、浴槽上にスライドさせる

▼電動で昇降、湯船につかる▼



指定管理者 医療法人社団 輝生会

船橋市立リハビリテーション病院



発行・編集 船橋市立リハビリテーション病院
発行責任者 院長 石原 健
〒273-0866 千葉県船橋市夏見台4-26-1
TEL. 047-439-1200
https://www.funabashi-reha.com

2024.5. vol.7

皆様

様、こんにちは。2024年4月より船橋市立リハビリテーション病院の院長を拝命しました石原健と申します。当院は2008年に公設民営のリハビリテーション専門病院として開院し、これまで多くの方々の支えとともに成長を続け、今年で17年目を迎えました。今年度は68名の新入職員と新たな管理職6名を迎え、更なる飛躍を目指します。私自身、当院開院メンバーの一員として勤務した縁もあり、2018年6月からは診療部長を務めリハビリテーション医療の質の向上を目指して臨床業務と専門医教育に力を注いできました。今後はこれまで以上に病院運営や地域連携の強化に関わり、我々の目指す「高品質の回復期リハビリテーション病棟」と「地域リハビリテーションの推進」を実現し続けるべく努力いたします。輝生会の理念を胸に「One for all, All for one」の精神で作上げたチームアプローチと教育システムに磨きをかけ、疾病や障害を持たれた方々が「再び輝いた人生」を送っていただけるよう、職員一丸となって質の高いリハビリテーション医療を提供してまいります。今後とも皆様のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願いいたします。



新管理職紹介



医長 医師 松原正典

令和6年4月より当院に赴任したとともに、医長を拝命いたしました。私はこれまで初期研修2年間終了後、脳神経内科1年間を経て、リハビリテーション科に5年間従事して参りました。大学病院のほか回復期病院や総合病院での勤務歴があり、急性期・回復期・生活期と幅広いフェーズに携わってきました。より良い医療を提供できるよう、教育や多職種連携に努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

集合写真下段左から紹介

回復期支援部北4病棟フロアマネジャー 相澤尚子

元々、急性期の救命センター勤務をして、リハビリをしてく患者さんを間近でみて、リハビリに興味がわき、回復期リハビリテーション病院で働いています。今まで色々な患者さんと出会い、回復期の可能性に触れ、当法人の魅力の一つでもある、チームアプローチを実践し、患者さん、ご家族を一番に考えられるよう、スタッフと共に頑張ります。よろしくお願いいたします。

回復期支援部副部長 兼 NS部門長 梅原啓子

最近、やっと海外含むいろいろな地域に遊びに行くこともできるようになり、「日常」の大切さを実感しながらリフレッシュしています。少しずつ「日常」を取り戻している当院も、この春には約70名の新入職員を迎え、新院長を中心に新たなスタートとなりました。「リハビリ病院に入院して良かった」と言ってもらえるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

集合写真上段左から紹介

回復期支援部2階病棟クオリティマネジャー 兼 PT部門長 飯山大介

私は、リハビリ病院のある船橋市夏見台で幼少より過ごしてきました。これまでに回復期病棟と訪問リハビリで、先輩たちに支えられ、多くの患者さん・利用者さんからリハビリテーションを学ぶことができました。地元の病院で地域に貢献できる仕事ができるよう、仲間と一緒に頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

生活期支援部外来・短時間通所チームフロアマネジャー 森田和希

職種は理学療法士で昨年度までは現場でリハビリ提供をさせて頂いておりましたので、現場を離れリハビリに直接関わらなくなっている自分が不思議の毎日です。現在は当院外来通所リハビリ利用希望の方々のご相談窓口対応をしております。理学療法士の視点を踏まえつつ、患者様・スタッフに寄り添いながらリハビリの大切さや楽しさを共感できるよう努めていきます。

地域連携支援室マネジャー 兼 SW部門長 塩見達也

生まれは東京都江東区、学生時代は宮城県で4年過ごしました。これから船橋市のことも学んでいきます。スポーツ(特にバスケットと野球)が大好きですが、最近は身体が言うことをきいてくれず観戦中心です。地域のみなさんと顔を合わせる機会にも積極的に参加していきますので、見かけた際はお声掛けしていただくと嬉しいです。よろしくお願いいたします。

サポート部マネジャー 神津章弘

輝生会には2012年1月に入職し、法人本部で経理、人事業務に携わっておりました。その後2018年8月に船橋市リハビリセンターへ異動となり、そこで初めて現場での勤務を経験しました。そして2022年5月に船橋市立リハビリテーション病院へ異動し現在に至っています。業務ではなかなか落ち着くタイミングもなく、忙しい日々ですが、休日には外に出かけるようにし、まだ入ったことのないお店を開拓してお酒を飲み、ストレス解消しています。



新入職者研修

集合写真 (新入職者と部門長)



桜の花が満開となった4月1日、江戸川区のタワーホール船堀において、医療法人社団輝生会の入社式が開催され、当院には医師、看護師、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカー、栄養士 計68名が入職しました。

2日からは会場を当院に移し、5日間にわたる研修となりました。研修内容は、疾患や社会制度などについての講義、移乗や口腔ケア方法などの実技、理想的な医療サービスを提供できるチーム作りについてのグループワークなど幅広い内容となり、より良い医療サービスを提供するための知識とスキルを学ぶための充実した時間となりました。今後も皆さまに安心してお越しいただけるよう、引き続き努めて参ります。



口腔ケアの実技研修



移乗の実技研修